



第24回国際ロールシャツハ及び投映法学会大会 —
2024年

“ロールシャツハと投映法の二世紀目における伝統と新たな発展”

2024年7月9日～12日、デンマーク・コペンハーゲン

www.rorschachcph2024.dk

演題申し込みの ガイドライン

方法と手順

- * ポスター発表、口頭発表、シンポジウム発表の抽象クトは、**2024年1月7日**までにISR 2024大会のWebサイト: <https://rorschachcph2024.dk>からオンラインで申し込みをする必要があります。
- * 抽象クトは、4つの公用語(英語、フランス語、スペイン語、日本語)のいずれでも申し込みできます。フランス語、スペイン語、または日本語で申し込みされる場合は、英語の抽象クトを追加で投稿してください。その場合、両方とも抄録集(抽象クトブック)に掲載されます。
- * 抽象クトの長さは最長**250語**以内です。
- * 発表時間は口頭発表**20分**(質疑応答含む)、シンポジウム**90分**です。これは、最終的なプログラム構成により変更される場合があります。最終的な発表時間は、採択通知とともに発表者に通知されます。
- * シンポジウムの申し込みには、4、5人の発表を含めることができます。その際には、全体の発表の抽象クトと、それぞれ各人の発表を加えて申し込みをする必要があります。

- * 全てのアブストラクトは、国際学術委員会によって評価されます。発表申込みの採択の可否については筆頭発表者宛に、遅くとも**2024年3月15日**までにお知らせいたします。
- * 連名での発表の場合は、発表する代表者に下線を引いて提出してください。発表が採択された場合、連名の中の少なくとも一人は（発表者は）**2024年4月15日**（の早期割引期間）までに参加申込み受付を済ませてください。その手続きがなされなかった場合は、プログラムから削除され、抄録集に掲載されません。シンポジウムの場合は、**4月15日**までに、全ての発表者が大会参加の受付申し込みを済ませていることが条件となります。
- * 各アブストラクトは、国際学術委員会の委員によって評価されます。演題の採択通知は、遅くとも**2024年3月15日**までに発表する代表者に送信されます。口頭発表とポスター発表のスケジュールの詳細と指示は、この通知に含まれます。
- アブストラクトが受理された著者の少なくとも1人(発表者)は、**2024年4月15日**までに大会に参加申込み受付を済ませる必要があります(早期割引料金は引き続き適用されます)。これを怠った場合、プログラムから除外され、抄録集（アブストラクトブック）に掲載されなくなります。シンポジウムについては、発表者全員の大会参加申込みが条件となります。
- ガイドラインに準拠していない演題の申し込みは受け付けません。

アブストラクトの内容

(口頭発表、シンポジウム、ポスター)

アブストラクトは、「研究発表」、「理論的または歴史的発表」、または「事例発表」として提出できます。

すべてのアブストラクトには以下の項目が含まれます：

- タイトル：議論するトピックを含める必要があります。その発表で取り上げる論点を伝えるものであれば架空のタイトルでもよい。

- はじめに: プレゼンテーションの背景。
- 方法論: 施行法と用いたコーディングシステムを含む。
- 結論: 研究の主な目的と可能性のある結果を明らかにする。

プレゼンテーションの種類によっては、アブストラクトには以下も含める。

○ 研究発表

- 仮説(もしあれば)
- 募集方法と同意
- 研究対象の説明
- 使用した統計の種類(該当する場合)
- 結果
- まとめ

○ 理論的または歴史的発表

- 発表の目的
- 該当する評価分野または評価方法
- 理論的な貢献または議論の要約
- 何が新しいのか、何が重要なのかを明確に示す

○ 事例発表

- 発表の目的
- アセスメントを受けた人についての説明とその背景(例: 入院、外来、司法関連など)の記述
- 使用したアセスメントについて
- アセスメントの結果(例: 結果、アセスメントを受けた人への影響など)
- 事例発表としての広範な意義(例: 学んだこと、理論への示唆など)

アブストラクトの形式

(口頭発表、シンポジウム、ポスター)

- * 250語以内。
- * アブストラクトを提出する際、「口頭発表」、「シンポジウム」、「ポスター」のいずれかを選択する。
- * アブストラクトのタイトルは大文字で書いてください。タイトルは簡潔で、アブストラクトの内容を示すものとする。
- * アブストラクトの本文は、シングルスペースで、左余白でのみ両端揃えです。段落間に空白行を入れないでください。
- * 標準の略語を使用してください。特別な略語または珍しい略語は、初出の際に完全な用語を表示した後に、括弧でその略語を示してください。
- * 提出する前に十分に校正をしてください。アブストラクトは学術委員会による編集は行いません。

演題のトピックス

- ロールシャッハ及び投映法のアセスメントに関する新しい展開：投映法、精神分析、現象学、CS-R、R-PAS、SCORS、DMM、健常者研究、信頼性と妥当性、定量的・定性的方法など。
- ロールシャッハ及び投映法をさまざまな領域で臨床に用いる：精神医学、学校教育、司法、監護、親業の能力の評価、治療的協働的アセスメント、倫理など。
- 精神病理の研究：精神的、身体的、社会的、文化的な障害、すなわち精神病現象、うつ病、人格障害、トラウマなど。
- 人生のさまざまな段階における心理学的精神病理学的発達、危機、移行に関する研究：小児期、青年期、成人期、老年期。
- 心理学の新しい展開に関する研究：神経科学、メンタライゼーション、心理療法、早期愛着など。